



お客様限り/外部配布厳禁

ビクシット・バーラト2047（発展したインド）

インド版「明治維新」がもたらす30兆ドル（4,700兆円）経済への転換点

N.I.S. New Investment Solutions Liechtenstein Ltd.
アズカルアセットマネージメント株式会社
創業者 佐藤隆

2026年6月



歴史的転換点:

日本の「明治維新」に匹敵する国家OSの書き換え。



2047年の目標:

GDP **30～35**兆ドル（現在の約8倍）、先進国入り。



デジタル覇権国：インド・スタック 2.0

デジタルインフラ整備により透明・強靱な経済圏を構築。



ガバナンス：

行政のデジタル化による効率化、汚職撤廃、規制緩和



投資機会:

金融セクターの**20**倍拡大に伴う歴史的収益機会



マクロ経済のロードマップ（数字で見る2047）



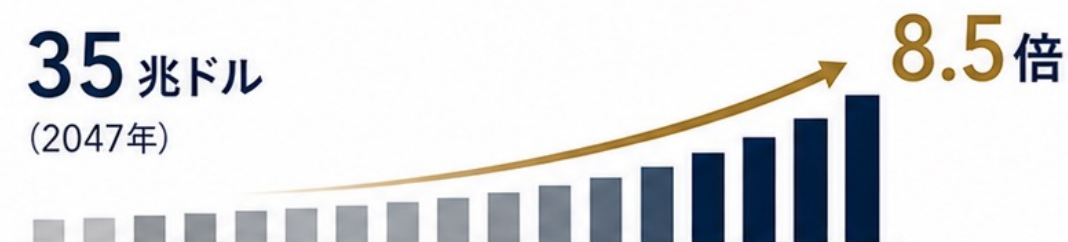
名目GDP

4.1 兆ドル (現在)



35 兆ドル

(2047年)



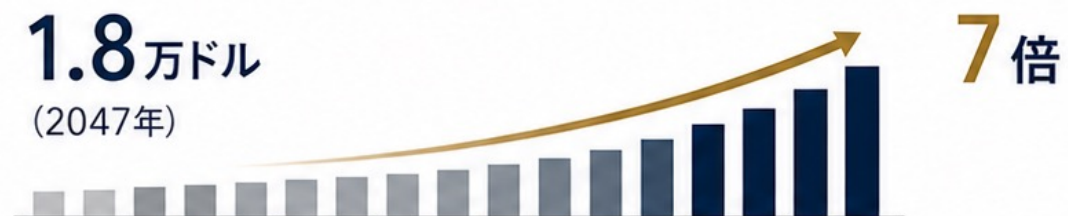
一人当たり所得

2,500 ドル (現在)



1.8 万ドル

(2047年)



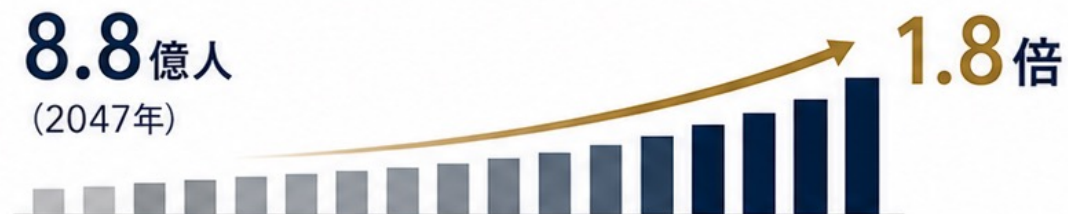
都市人口

4.8 億人 (現在)



8.8 億人

(2047年)



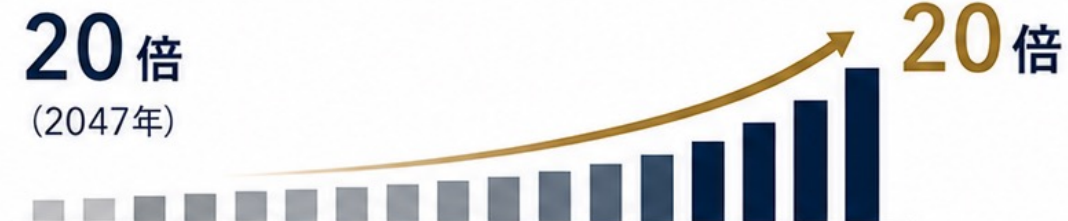
金融セクター規模

現在



20 倍

(2047年)



*中所得国の罅を突破し、20年で国家全体の富が根本的に底上げされる

戦略を支える「4つの柱（Caste of India）」

1



若者（Yuva）：
デジタル消費の主役（教育、スキル開発、起業支援）

2



貧困層（Garib）：
生活水準の底上げと福祉（新たな中間層への昇格）

3



女性（Mahilayen）：
労働参加による所得拡大と権利向上

4



農家（Annadata）：
農業テックによる所得向上

*金融支援が巨大な未開拓市場を開放する



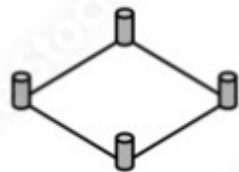
税制（所得税法 2025）

→60年ぶりの大改正。中間層の購買力を爆発させる



労働（新労働法典）

→雇用の柔軟性と企業の機動性確保



土地（Bhu-Aadha）

→紛争根絶・登記の高速化 「数ヶ月から数時間」



デジタル個人データ保護法（DPDP法）

→デジタル取引の法的信頼

*制度の透明化とガバナンス強化こそが、最大のリスクプレミアム解消（＝リターンの源泉）となる

- **信頼の法的インフラ**：デジタル取引の安全性を保障するインド版GDPR。
「世界で最も信頼されるデジタル経済圏へ」

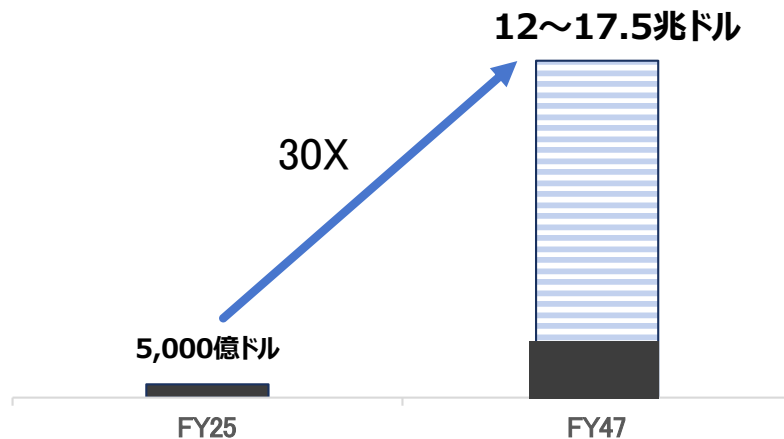
データ主権における三権分立	 1.行政や司法の力： デジタル保護ボード（DPB）による監督 ・制裁：最大25億ルピーの罰金
	 2.個人の主権： 同意（Consent）に基づくデータ利用
	 3.受託者（フィデューシャリー）の責任： 説明責任（Accountability）と善管注意義務による不正防止、 市場の透明性

*データが個人に属する資産となる

住宅ローン市場：世界最大のフロンティア

爆発的ポテンシャル：

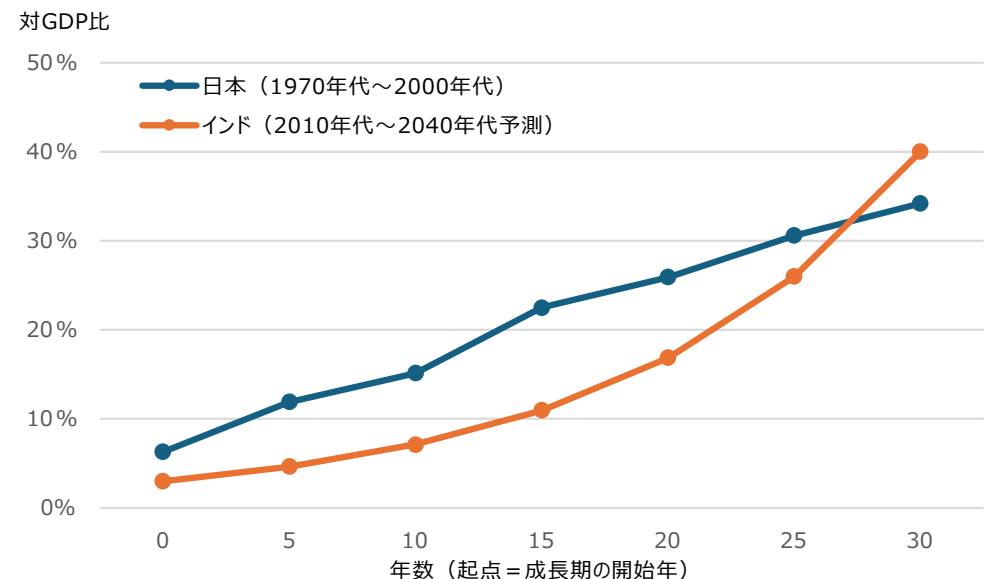
- 市場規模：
0.5兆ドル → **12兆～17.5兆ドル**
- 対GDP比：12% → **40%～50%**
- 現在の米国市場に匹敵する世界最大のマーケットへ
- デジタルで高速再現



*実需に伴う膨大な住宅需要

日本との類似性：

1970年代の高度成長期の日本と同じ成長曲線

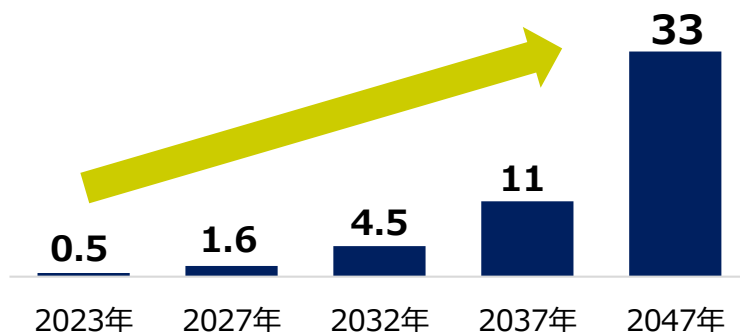


構造変化：「物理的資産（金・不動産）」から「金融資産（投信・株式）」へ。



投資信託 (AUM)：2047年までに **33兆ドル** (2025年末9兆ドル)

AUMの推移 (兆ドル)



- SIP(定額積立投資) の定着
- インデックスファンド、ETF、REITも急速拡大
- 個人主導（6割）の市場へ成熟

“The Mutual Funds Route to Viksit Bharat@2047”(AMFI, PwC)をもとに試算



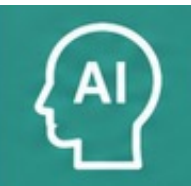
IT企業型モデル：

人的資本に頼らず、デジタルで完結する低コスト構造。



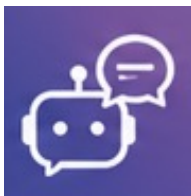
スケーラビリティ：

融資額が増えても運用コストが増えない幾何級数的な利益率。



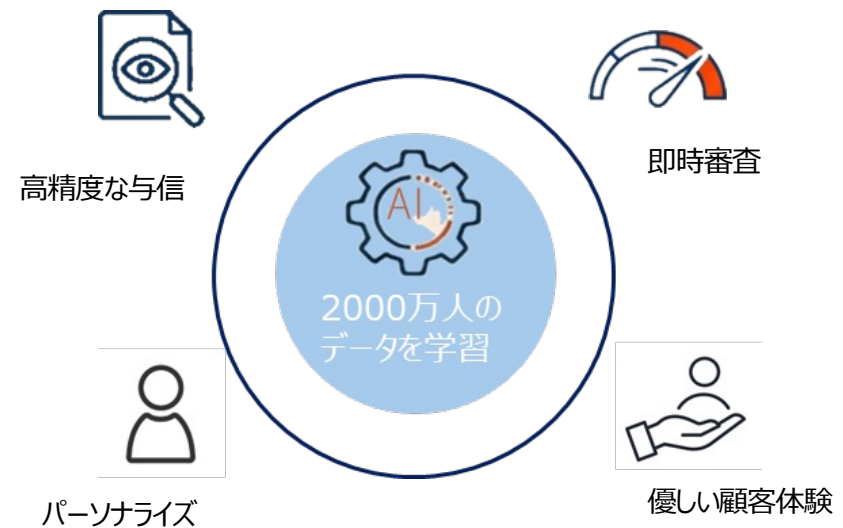
AI活用：

2,000万人のデータを学習した「賢く、優しい」顧客体験。



AI自律型ボット：

リスト作成から会話、契約締結までボットが営業完結。





GIFT City :

シンガポールやドバイに代わる国際金融ハブ。



ルピーの国際化 (SRVA):

貿易決済と資産運用の両面でルピーを世界標準へ。



グリーン・ファイナンス:

法的・技術的に裏付けされたESGデータ透明性。

・脱炭素化製造プロセスの透明化や環境負荷の可視化

- **投資の本質：社会変革 世の中の課題を解決する**
- **リターンの源泉：「喜ぶ人の数」、実需の規模、高いリスクプレミアム、情報の非対称性**
- **透明性のボーナス：制度近代化とガバナンス強化によるリスクが解消され、資産価値が上昇**
- **戦略的アプローチ：**
 - ・インカム：シニア・ローン債権（住宅ローン、企業融資）
 - ・キャピタル：都市開発・不動産、企業のエクイティ（ローカルパートナーが要）
- **長期投資の複利効果：**
 - ・年30%の20年複利→ 190倍
 - ・年40%の20年複利→ 837倍

「2047年、この転換点を見抜いた判断が歴史的な正しさを証明する」

お問い合わせ先



☎ 03-5843-8320 sales@azucar-am.com

※ 苦情等のお申出につきましては、下記Eメールアドレスでも承っております。

info@azucar-am.com

ご留意事項

- 本資料は、アズカルアセットマネジメントが情報提供を目的に作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 本資料中の図表、数値、その他のデータは、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の運用状況や成果を示唆・保証するものではありません。
- 本資料は、信頼性が高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性及び完全性を保証するものではありません。記載された内容は、別途断りのない限り作成日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

AZAM2026060199